

第1学年国語科学習指導案

日時 平成18年10月3日(火)5校時
児童 男子8名 女子2名 計10名
指導者 木村紀子

1 単元名(教材名) くらべて よもう (じどう車くらべ)

2 単元について

(1) 児童について

児童はこれまで、説明的な文章を「読むこと」については、「いろいろなくちばし」の学習で、「問い」と「答え」という説明的文章の基本的な形式を学んだ。また、鳥のくちばしの特徴とその働きについて「特徴」「問い」「答え」「働き」という流れに沿って、内容の大体を読み取り、それを繰り返すことで説明文の構成や言葉遣いに慣れてきた。

本学級の児童は、叙述に即して読み取ることに関して2回目の学習となるが、まだ断片的に読み取ったことに自分の思いを入れてしまう傾向がある。音読に関しては、毎時間時間を取って練習しすらすらと読むことができるようになってきているが、文字を見ながらしっかり読める児童と、耳で覚えて読んでいる児童がいる。読書に関しては、ただページをめくることの多い児童もいるが、本を手にすることは大好きで、読み聞かせも好きである。

(2) 主たる指導事項

「読むこと」における本単元の指導事項は、「時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」である。「事柄の順序」としては、「仕事」「作り」という二つの事柄を書かれている順序に沿って読み取っていく。それから、読み取った事柄について「くらべて」みることでさらに深い読み取りをする。

そのために、接続詞や文末表現に着目させながら内容の大体を読み取り、それを繰り返すことで説明文の構成や言葉遣いに慣れさせていくことが大切となる。

(3) 指導に当たって

教材文「じどう車くらべ」は、この時期の児童の興味・関心の対象として代表的なものの一つである自動車を取り上げた説明文である。文章の構成としては、「話題提示・問題提起(前文)」、「問題に対する説明(本文)」、「バスや乗用車、トラック、クレーン車」で構成されている。前文では、それぞれの自動車は、「どんな仕事をしていますか。」「そのために、どんな作りになっていますか。」と問題提起しており、これが本文を読み進める上での視点となっている。

本文は、三種類の自動車について「仕事」「作り」の順に説明している。本単元では、「いろいろなくちばし」で学習したようにそれぞれの自動車の説明について内容の大体を読み取ることに加え、読み取った特徴を比べることによってさらに読み取りを深めさせたい。

また、「まとめる」の段階では、自分の好きな自動車について、教材文を参考に自分でも「仕事」と「作り」をみつけ、説明の文を作る学習活動を取り入れたい。

そこで、指導に当たっては、次のことに留意したい。

ア 間違えずに、内容を考えながら、すらすら読めるように音読練習をさせる。

イ 目的を持って音読する回数を増やし、文中の言葉に着目させる。

ウ 「仕事」を読み取り、そのための「作り」になっていることを読み取らせる。「仕事」「作り」の構成を繰り返すことにより理解させ、活用させる。

エ 挿絵を手がかりに文章の大体をつかませる。

オ 読み取った特徴について比べてみることにより、読み取りを深くさせる。

3 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・ 自動車の「仕事」と「作り」の関係に興味をもって読もうとする。

(2) 読むこと

- ・ いろいろな自動車の「仕事」と「作り」の関係を考えながら、内容の大体を読み取ることができる。

4 単元の評価規準 (B)

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・ 身近な自動車に関心を持ち、「仕事」と「作り」を読み取ることによって、ほかの自動車の「仕事」と「作り」に興味・関心を広めようとしている。

(2) 読むこと

- ・ いろいろな自動車の「仕事」と「作り」の関係を考え、ほかの自動車と比べながら内容の大体を読み取っている。

5 学習指導計画 (8時間扱い)

段階	学習課題	活動計画	評価規準 (B)
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> ・ しどう車ずかんをつくる計かくを立てよう。 ・ すらすら読もう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知っている自動車を出し合い、自動車図鑑を作る計画を立て、「仕事」と「作り」が必要なことを知る。新出漢字を覚える。(1時間) ・ 音読練習をする。「仕事」と「作り」について知る。カタカナを覚える。(1時間) 	<ul style="list-style-type: none"> 関 自動車に興味をもって発表し、意欲的に自動車図鑑を作ろうとしている。(発言) 書 新出漢字を覚えている。(ノート・観察) 読 引っかけからずに音読している。「仕事」と「作り」の意味が分かる。(観察・音読・ノート・発言) 書 カタカナを覚えている。(ノート・観察)
とらえ・ふかめる	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスとじょうよう車のしごととつくりをたしかめよう。 ・ トラックのしごととつくりをたしかめよう。 ・ クレーン車のしごととつくりをたしかめよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスと乗用車の仕事と作りを読み取る。(1時間) ・ トラックの仕事と作りを読み取る。(1時間) ・ クレーン車の仕事と作りを読み取る。(1時間:本時) 	<ul style="list-style-type: none"> 読 バスと乗用車の「仕事」と「作り」を見つけ、人を運ぶために、座席と窓の作りが工夫されていることを読み取っている。(発言・カード) 読 トラックの「仕事」と「作り」を見つけ、荷物を運ぶために、二台とタイヤの作りが工夫されていることを読み取っている。(発言・カード) 読 クレーン車の「仕事」と「作り」を見つけ、重いものを吊り上げるために、じょうぶな腕としっかりした足の作りが工夫されていることを読み取っている。(発言・カード)

つかう	・じどう車カードを作ろう。	・本やミニカーなどを見て自分が選んだ自動車について「仕事」と「作り」をみつけて、説明の文章を書く。(2時間)	書 選んだ自動車のカードを「仕事」と「作り」が分かるように作っている。(観察・カード)
	・「じどう車ずかん」をつくろう。	・発表し合い、表紙をつけて「自動車図鑑」を仕上げる。(1時間)	開 大きな声で発表し、友達の発表に感想や意見を言える。(観察・発言) 開 「自動車図鑑」を仕上げている。(図鑑)

6 本時の指導

(1) 本時と仮説とのかかわり

説明的文章の学習指導において、子ども一人一人が自ら読みの視点をもつことができる学習活動を工夫し、その定着を図るための振り返りを入れていけば、「読むこと」の力が高まるであろう。

本時は、問題に対する説明を読み取る段階(3時間扱い)の3時間目である。内容の大体を読み取るためには、「仕事」と「作り」を読みの視点として読み取らせていくことが大切である。また、文末表現や接続詞から、読み取る内容がどこに書いてあるのかを確認し、叙述や挿絵を比べて読み取りを深めていくようにしたい。

そこで、次のような学習活動を設定した。

ア 視点をはっきりとさせた音読を授業の中に多く取り入れる。

イ 「仕事」と「作り」を視点として、内容を見つけさせる。

ウ 手がかりとなる文末表現と接続詞も視点として、内容を見つけさせる。

エ サイドラインを引かせることで、叙述に即した読みをさせる。

オ みんなの出し合ったことを基に読み取ったことをカードに書かせる。

カ 叙述や挿絵を比べて読み取りを深めていく。

キ 読み取ったことを確認するために動作化を取り入れる。

ク 「仕事」- 接続詞 - 「作り1」- 「作り2」という構成になっていたことを押さえ、本時の内容を読み取らせる。

以上のように、目的を持った読みや言語活動を工夫することで、叙述に即して正しく読む力を身に付けさせたいと考えた。

(2) ねらい

クレーン車の「仕事」と「作り」の大体を読み取ることができる。

(3) 展開

段階	学習活動	時間	指導上の留意点・評価
つかむ	1 前時の学習段落(~ 段落)を音読し、想起する。	5分	<ul style="list-style-type: none"> 一斉読みをさせ、「仕事」と「作り」を関連付けて確認する。 読みの視点 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>本時の読みの視点も、「仕事」「作り」であることを確認する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 前時に気をつけたのは、「~のしごとをしています。」「そのために~います。」であり、大切な視点であることを確認する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>クレーン車のしごととつくりをたしかめよう。</p> </div>		

ふ か め る	<p>3 クレーン車の仕事と作りを読み取る。</p> <p>(1) 学習段落 を音読する。</p> <p>(2) クレーン車の仕事を読み取る。</p> <p>(3) クレーン車の作りを読み取る。</p> <p>(4) 図鑑のカードに書く。</p>	30 分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ読みをさせる。 ・どの段落に書いてあるかをみつけさせる。 ・音読で確かめる。 ・仕事にサイドラインを引かせる。 ・「～の仕事をしています。」を押える。 ・「つりあげる」とはどうすることか、動作化をさせながら考えさせる。 ・どの段落に書いてあるかをみつけさせる。 ・音読で確かめる。 ・作りにサイドラインを引かせる。 ・「そのために、～あります。～います。」を押さえる。 ・「じょうぶなうで」を確認する。 ・「のびたり、うごいたりする」とはどういうことか、動作化をさせながら考えさせる。 ・「車たい、しっかりしたあし」を確認する。 ・「かたむく」とどうなるのか考えさせる。足でどうするのか考えさせる。 ・何のためにこのような作りになっているのかを考えさせる。(重いものを思い通りに吊り上げる、重くても傾いて倒れないため) <p>評カードに仕事と作りを書いている。(カード)</p>
ま と め る	<p>4 学習課題のまとめをする。</p> <p>5 学習範囲を音読する。</p>	10 分	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と作りを発表させる。 ・バスや乗用車、トラックの仕事や作りと比べて、理解を深めさせる。(叙述、挿絵) ・一斉読みをさせる。

(4) 具体の評価規準

Aの例 クレーン車の仕事と作りを見つけ、おもいものをつりあげるために、じょうぶなうでとしっかりしたあしのつくりがくふうされていることを詳しく読み取っている。(カード、発言、サイドライン)

Bの例 クレーン車の仕事と作りを見つけ、おもいものをつりあげるために、じょうぶなうでとしっかりしたあしのつくりがくふうされていることを読み取っている。(カード、サイドライン)

努力を要すると判断された児童への具体的な手立て
板書や教科書を示しながら確認させる。

